

科学者委員会学術誌問題検討分科会（第7回）議事録

日時：平成21年11月19日（木）17:00～19:40
場所：日本学術会議 5-A（1）会議室
出席者：浅島委員長，山本（眞）副委員長，西郷幹事，玉尾幹事，植田委員，
田口委員，北島委員，永井委員，林委員，尾城委員
事務局：古西参事官，兼平専門職，鳥生専門職，中島調査員 他

配布資料：

- 資料1 前回議事要旨（案）
- 資料2-1 報告書素案 構成案
- 2-2 報告書素案 1章
- 2-3 報告書素案 2章
- 2-4 報告書素案 3章
- 資料3 学術誌問題検討分科会報告について
- 資料4 ジャーナルに関するアンケート（案）
- 資料5 今後の進め方について（案）

- 参考1 委員名簿
- 参考2 学術誌問題の論点について（第1回分科会資料4）
- 参考3 学術誌問題分科会
-これまでの検討状況と提言の骨子-（総会資料）
- 参考4 学術誌をめぐる最新情報

議事

1. 前回議事要旨（案）の確認

浅島委員長より，前回議事要旨について確認を求められ，異議なく了承された。

2. 報告書素案の取りまとめについて

各章の説明に先立ち，浅島委員長より，総会での説明，科学者委員会での説明，会長・副会長との会談内容について報告があった。

○第1章について

山本副委員長より，第1章について資料2-2に基づき，前版からの変更点の説明があった。

○第2章について

西郷幹事並びに尾城委員より，第2章について資料2-3に基づき，内容には変更がないことの説明があった。また，WG1とWG2の内容を併合すること

になっており、文体を統一する必要があるので箇条書きのままである旨の説明があった。

○第3章について

玉尾幹事並びに林委員より、第3章について資料2-4に基づき、前版からの変更点の説明があった。また、玉尾幹事より、野依理研理事長、岩澤次期化学会会長の意見が披露された。さらに、植田委員より、先端学協会連合の意見と提案に対する回答が披露された。

また、浅島委員長から生化学会の取り組みについて、植田委員より物理学会/応用物理学会、高エネルギー分野、AIPの取り組みについて紹介があった。

引き続き、全体および個々について下記の提案があった。

- 1) 提言と報告書では重みに大きな差があるので、本分科会での検討結果は提言としたい。
- 2) 要約は極めて重要なので、十分に検討したい。
- 3) 現案は組織設置が前面に出すぎているので、そのような組織を成立させるためには人材育成が必須であると、人材育成を織り込んではいか。
- 4) WG1とWG2の内容を併合することになっており、文体等統一するために担当者を指名してはいか。
- 5) 用語集を作る必要があるのではないか。
- 6) 出典記載の資料を用意する必要があるのではないか。
- 7) NII, JST, NDL等の既存組織とのネットワークを作る必要があるのではないか。
- 8) 外国人エディターをいれるシステムを考える必要があるのではないか。
- 9) 関係省庁、学協会への説明を進める必要があるのではないか。
- 10) 興味を持つ学協会の先生方に何らかの形で本分科会に参加していただく方がよいのではないか。
- 11) グローバル30の英語教員と類似のシステムは作れないか。
- 12) 学術誌出版に必要な人材を育成する大学院コースの新設は出来ないか。
- 13) 日本ブランドの確立が必要ではないか。例えば、学術会議をブランドに使えないか。
- 14) 誰が牽引者になるのかが重要ではないか。
- 15) 用語を他の学術会議の文書に使われている用語と統一する必要があるのではないか。
- 16) 物理系学会の取り組みをseedにしてネットワークを形成できないか。

これらの提案について議論した結果、以下のことを決定した。

- 1) について：当分科会としては提言とする。
- 2) について：本体を作成した後、本分科会で十分に吟味する。
- 3) について：人材育成を織り込む。
- 4) について：西郷幹事、林委員、尾城委員が担当する。
- 5) について：用語集を作成する。

- 6) について：本体の作成と平行して資料編を作成する。
- 10) について：支援内容が明確でない時の議論に参加していただくと思わぬ混乱が起こる可能性があるため、当面は見送る。
- 13) について：学術会議をブランドに使うことは不可能である。しかし、極めて重要なことなので、今後検討していく。
- 15) について：「科学技術」は「化学・技術」に、「学協会」は「学術団体」に統一する。

3. ジャーナルに関するアンケート（案）について

ジャーナルに関するアンケート（案）について一部を修正した。最終案作成は永井委員が担当することになった（12月4日まで）。

アンケートは事務局から発信し、回答は事務局宛とすることとした。回答を事務局で集め、永井委員が集計することとした。

4. 今後の進め方について

今後の取り組みについて浅島委員長から次のような提案があり、了承された。

<12月11日頃：科学者委員会委員長により、査読委員の決定>

12月16日まで：併合した提言案-1の作成（西郷幹事，林委員，尾城委員担当）

<この間，委員による査読（12月24日意見締切）>

1月6日まで：提言案-2の作成（西郷幹事，林委員，尾城委員担当）

1月6日後速やかに：科学者委員会委員に提言案-2を事前配布

<この間も委員による査読（1月19日12時：意見締切）>

<1月19日12時まで：会員，連携会員の意見聴取>

1月30日まで：提言案-3（科学者委員会査読版）の作成

2月2日：**第8回学術誌問題検討分科会**

・提言案-3（科学者委員会査読版）についての最終検討

2月2日後速やかに：科学者委員会の査読委員に提言案-3（科学者委員会査読版）を送付

<この間，科学者委員会の査読委員による査読>

2月10日頃：査読結果を受け取り

2月10日後速やかに：提言案-4（査読結果反映版）の作成

2月15日の週～25日までの間に開催予定：科学者委員会

・提言案-4（査読結果反映版）の提出

2月25日まで：提言案-5（幹事会提出版）の作成

2月25日 : 幹事会
・ 提言案-5（幹事会提出版）の提出

3月25日まで：提言最終案の作成

3月25日 : 幹事会
・ 提言最終案の提出・承認

4月5～7日 : 総会
・ 提言最終案の提出

以上